

オホーツク農山漁村活用体験型ツーリズム推進協議会

地域資源：農林水産物、景観
事業分野：食品、観光・旅行
事業主体：協議会、地域企業

○オホーツクの自然環境、産業と触れ合う新しい旅の形を目指し、地域の様々な関係者と連携した体験コンテンツを創出。また、地域産業ガイドの育成にも力を注いでおり、雇用の創出にも貢献。

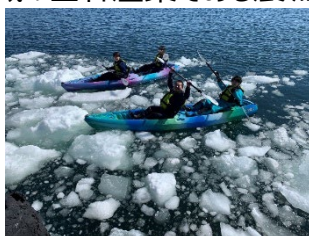
基本情報

- 所在地：北海道網走市
- 選定表彰：
 - ・第9回「ディスカバー農山漁村の宝」(R4)
- 主力商品・イベント：
 - ・体験コンテンツ造成
 - ・地域産業ガイドの育成
- 活用した支援施策：
 - ・農泊推進対策 (H30)
 - ・観光庁 インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業 (R5)

サイクリングガイド育成、様々なアクティビティを組み合わせた総合的アドベンチャーツーリズムの造成
※連携先の事業者が代表となり受託

取組の概要

- オホーツクの景観を楽しめるカヤックやサイクリングなどを含めた複合型のアドベンチャーツーリズムや、日本一の産地である玉ねぎの皮を使った染物体験等、充実したアウトドア、インドア体験を提供。
- 交流拠点「connectrip（コネクトリップ）」を国定公園内の湖畔に開設。地元の生産者等と連携し、農漁業体験や景観、地元の食材の料理が楽しめる複合型ツアーの造成など、異業種間の連携強化を後押し。
- 地域住民を主な対象としたガイド育成講座を開催することで、地域産業を発信できる兼業ガイドを育成し、地域の雇用を創出。
- 地域の基幹産業である農漁業に触れる体験学習を市内小中学校に提供実施



漁業者の協力により実現したオホーツク海の流氷カヤック



講習会により育成されたガイドメンバー



体験学習（農家訪問）

体制図

オホーツク農山漁村活用体験型ツーリズム推進協議会が運営する
connectrip（コネクトリップ）組織図

イベント企画・推進部門：

- ・各種イベントの開催
- ・室内イベントの企画
- ・人材発掘
- ・イベントの許可申請など

教育旅行部門：

- ・行政への提案や報告
- ・ガイドとの連携

人材育成部門：

- ・ガイド育成（カヤック・サイクリング等）
- ・イベント調整

環境整備部門：

- ・国定公園法申請
- ・湖・川・海・河川占有許可申請など

情報発信部門：

- ・HP管理
- ・各種OTA入力業務など
- ・チラシ作成

営業・経理部門：

- ・補助金関係申請、報告
- ・経理（事業費・補助金）
- ・新規事業営業・商談会など

取組の成果

- アクティビティ体験売上：31万円（H30）→ 881万円（R4）
- 室内外アクティビティ体験者数：0人（H29）→ 1,000人（R4）
- 地域産業ガイド：0人（H29）→ 23人（R4）
- 体験コンテンツ数：0（H29）→ 32（R4）
- 教育旅行・総合学習体験受け入れ：0（H29）→ 610人（R5）

ウェブサイト▶ <https://connectrip-okhotsk.com/>

仁木町ワインツーリズム推進協議会

地域資源：農林水産物（ぶどう）、景観
事業分野：食品、観光・旅行、イベント
事業主体：町、観光協会、農業者等

- 北海道有数のワイン産地として、町内のワイナリーを中心としたワインツーリズム推進協議会を設立。体験型プログラム等のコンテンツの整備を図り交流人口の増加を実現。

基本情報

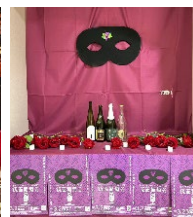
- 所在地：北海道仁木町
- 選定表彰：
 - ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」北海道地区選定（R5）
- 主力商品・イベント：
 - ・ワイン
 - ・ワインイベント（ワイリングウォークフェスNIKI、冬のワインパーティ in NIKI ～仮面葡萄会～）
- 活用した支援施策：
 - ・農山漁村振興交付金 農泊推進対策（農泊推進事業）（R4～5）

取組の概要

- 北海道有数のワイン生産量を活かし、ワインツーリズムによる滞在型観光を創出することを目的に、令和4年に設立。
- 農泊推進事業を活用し、ブランド戦略の策定、パンフレットやホームページ等のコンテンツ制作、体験型プログラムの計画策定、食事メニューの開発を実施。
- 町内のワインと産地のPRのため、生産者と飲食店が連携した「ワインと地元食材を楽しみながら町内を巡るイベント」や、生産者との交流を通じて「ワインの魅力を深めるイベント」を開催し、交流人口の増加を実現。



生産者との交流を通じてワインへの魅力を深める
「冬のワインパーティ in NIKI ～仮面葡萄会～」



ワインと地元食材のメニューが楽しめる
「ワイリングウォークフェスNIKI」



体制図

仁木町ワインツーリズム推進協議会

中核団体

宿泊

食事

体験

10事業者
ワイナリー、
飲食店、
宿泊施設等

支援組織：町、JA、観光協会

↑マーケティング・プロモーション

事業連携・支援等↑

広告事業者

地元住民、近隣エリアのワイナリー、
観光、交通等の事業者

取組の成果

- 宿泊の売上* : 約160万円（R1） → 約1,880万円（R4）
- 延べ宿泊者数* : 26人（R1） → 1,411人（R4）
- イベントの参加者数 : 384人（R5） → 554人（R6）

*印：協議会加盟の宿泊施設の実績

ウェブサイト▶<https://niki-wine-tourism.com/>

社会福祉法人 誠友会 工房あぐりの里

地域資源：農林水産物
事業分野：食品、観光・旅行、福祉、教育
事業主体：生産者、高校、NPO

- 「誰もが地元で安心して暮らし続けられる地域づくり」を目指して、平成20年から本格的に農業生産と6次産業化に着手。観光農園は年間40万人が訪れる県内有数の観光スポットとして、障害者・高齢者の活躍の場として、更には地域の交流拠点として発展。

基本情報

- 所在地：青森県おいらせ町
- 選定表彰：
 - ・ノウフク・アワード優秀賞（R3）
 - ・第7回「ディスカバー農山漁村の宝」コミュニティ部門（R2）
 - ・地産地消等優良活動表彰（交流促進部門）農林水産大臣賞（H27）
- 主力商品・イベント：
 - ・小麦、キクイモ、イチゴ、南国フルーツ等
- 活用した支援施策：
 - ・農山漁村振興交付金（農福連携対策）（R2）

取組の概要

- 障害者の就労する場として、新鮮な野菜や南国フルーツを栽培できる大規模なハウスや直売所、加工施設、レストラン、圃場等が整備されており、土づくりから苗の植え付け、収穫作業、調理補助や加工作業、動物の世話など職種は多岐にわたる。
- 1人1人が抱える症状に合わせて仕事内容を調整するなど、自らの能力とペースで仕事をこなし、達成感ややりがいを得ながら働けるよう、農業を含む様々な職種の従事者が障害者とともに働き、支援・連携しながら作業を行っている。



熱帯ハウスのバナナ栽培



バリアフリーのイチゴ高設栽培



野菜加工施設

体制図

【観光農園アグリの里おいらせ】

- ・株式会社アグリの里おいらせ（農業法人）
- ・工房あぐりの里（福祉サービス事業所）
- ・NPO法人平成謝恩会（地域貢献）



- ・ふるさとの味研究会（高齢農業者団体）
- ・地元農業者
- ・地元公立高校

農作業委託・加工品の共同開発

取組の成果

- 平均工賃（B型）：16千円（H22）→ 25千円（R2）
- 収穫された小麦の取扱店舗：21店
- 関連商品：40種類以上を開発・販売
- 商品開発：ピクルス、ドレッシング、ふりかけ、漬物等の全9種類の新商品を開発。

ウェブサイト▶<http://agurinosato.jp/index.html>